

令和3年度(2021年度)公共事業再評価調書

基準年月日 令和3年8月1日

Table with multiple sections: I 基本事項 (基準日時点), II 公共事業評価経過, III 事業採択前の状況, IV 事業の実施状況. Includes details on budget, project goals, evaluation progress, and implementation status.

2. 事業効果	経済効果の内訳 (百万円)		費用の内訳 (百万円)		B/C	備 考
	項 目	R3現在	項 目	R3現在	R3現在	
	被害軽減効果	926	建設費	773	/	●「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省R2年) ●「地すべり対策事業の費用便益分析マニュアル(案)」(国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部 R3.1)に基づき算出。 ●効果及び費用はR3に現在価値化し、「整備期間+完了後50年間」で算出。 ●費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる。
			維持管理費	1		
	合計 (B)	926	合計 (C)	774		
前回算定年度：H28年度(2016年)【事業採択】 前回算定時B/C：1.95 変更理由： ・事業費の増額に伴う費用の増加 ・治水経済マニュアル(案)及び地すべり対策事業の費用便益分析マニュアル(案)の改訂に伴う便益算定方法の見直しによる効果の増加						

3. コスト削減などの取組	取 組 の 項 目	取 組 の 内 容	縮減額 (百万円)
	施工方法の最適化	法面保護工を吹付法枠工から塩害に強い客土注入マット工にすることによるコスト削減	6

V 評 価

1. 必要性	● 本事業は、土砂災害から地域住民の生命、財産を守ることが目的であり、その事業効果が大きいことから、事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。						
	a	a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。					
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題						
	● 漁業関係者との協議により、コンブの漁期(6月～10月)と重複しないよう施工時期を設定している。						
	(2) 事業推進に対する住民の動向						
3. 事業達成の見込み	● 厚岸町から事業の早期完成に向けて毎年度要望が出されている。						
	(3) その他の課題						
	● 特になし						
4. 対処方針	現状では事業進捗に大きな支障となるものはなく、事業は順調に進捗していく見込みである。						
	a	a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b：課題はあるものの達成は可能である。 c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。					
	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和7年度(2025年度)の完成を目指して事業を継続する。						
事業期間変更の有無		有	事業費変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更 無	左記以外の変更 有

VI 備 考

1. 評価履歴	事前評価：該当なし 再評価：該当なし
2. その他の取組事項	

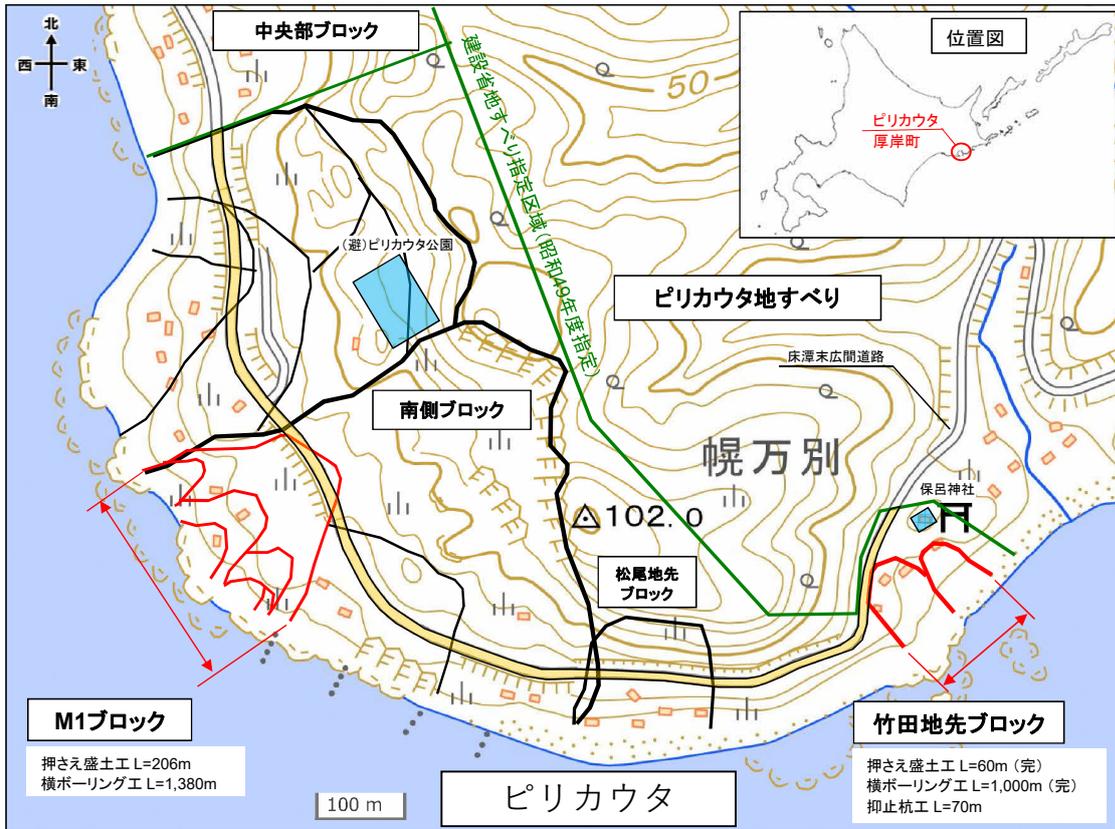
補足資料

VII 事業計画変更 (単位：百万円)

事業経過	再評価	事業採択	着手	変更年度	完了予定	経過年数	事業費				
							総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/a
事業経過	事前評価又は当初	H28(2016)	H29(2017)		H32(2020)	経過年数	350	175			
	変更①	H28(2016)	H29(2017)	H29(2017)	H37(2025)		781	391			
	変更②			R3(2021)	R7(2025)		852	426	120	437	51%
	変更③										
	変更④										
	変更⑤										
	変更⑥										
	変更⑦										
	変更⑧										
	変更⑨										
変更⑩						5					

変更理由・内容	変更①：事業費の変更及び事業期間の延伸 ・地質調査結果により地すべり範囲が大きくなることによる横ボーリング工及び押え盛土工の増額 ・押え盛土工の浸食を防止するための消波ブロックの増額 ・事業費の増額に伴って残事業の施工期間を精査したことによる完了予定年度の延伸 変更②：事業費の変更 ・資材及び労務単価や消費税率が上昇したことによる増額
---------	---

ピリカウタ 総合流域防災事業費(地すべり)(社会資本整備総合交付金)



※国土地理院地図を加工して作成

事業の目的

- 土砂災害から地域住民の生命、財産、公共施設などを守るため、地すべり防止施設の整備を行う。
- 平成27年(2015年)10月の大型台風23号により、地すべりブロックの末端部が洗堀されたことを契機に地すべり現象が確認され、近隣の地すべりブロックへの波及が懸念された。
- 地すべり対策施設の整備を行い、人家や公共施設などを土砂災害から守ることを目的とする。

事業概要

- ピリカウタ地区地すべり対策事業は、人家や公共施設などの保全対象を守るため、地すべり対策施設(横ボーリング工、抑止杭工及び押え盛土工)の整備を行うものである。

M1ブロック 主断面図

